# 進路だより

『夢をかなえるために……』

札幌市立東白石中学校
第３学年　　進 路 係
第 70 号
2026年11月10日発行

## 就職を考える（その２）

### 高校卒業後の進路について

［前号の続きです］

**工業高校卒業生も複数技能の時代です**

工業高校を卒業して、将来どのような道をとるかという場合に、いろいろな考え方があります。

一つは、高校で学んだことをさらに続けていきたいという場合です。たとえば電気科出身だったら、もっと電気のことをやっていきたい。建築科出身だったら、もっと建築のことをやっていきたいという考え方がこれになります。この考え方はさらに二つに分かれて、続けたいからもっと深く知りたい、もっと専門的に突っ込んでやりたいという人は、進学を選ぶことになります。また、学んだ知識や技術をすぐに生かしたいという人は、就職を選ぶことになります。

一方、よく考えなければならないのは、専門外のところへ行きたいという場合です。たとえば、機械科で３年間学んだけれども、その学んだことをどうも自分は続けていく気がしない。だから別のところへ行きたいという場合です。これにも考え方は二つあって、別な専門に行きたいから今までに学んだことを捨てるという、好ましくない考え方もあります。しかし、学んだことは自分で生かしながら、たとえば、電気科を出てホテルやスーパーに勤めるという選択もあるわけです。ホテルやスーパーは、電気科で学んだことが直接は関係ない業種です。でも、学んだことがまったく役に立たないのかというとそうではなくて、役に立たないか立たせるかは、本人の仕事に対する考え方や姿勢によって異なってくるのです。

また、第三の道ですが、二つの専門を持つために、別な進路を選ぶという考え方もあります。今、外国への輸出が停滞しています。このままでは生産が伸びないから、もっと伸ばすために、アメリカに輸出していたものはアメリカで作る、フィリピンへ輸出していたものはフィリピンで作る、というシステムになってきています。このため、外国へ技術者がどんどん進出しています。この場合に問題になるのは、外国語のできる技術者が少ないことです。日本の技術は外国よりもはるかに進んでいますから、外国では日本の技術者に指導してもらいたいのです。ところが、日本の技術者と外国の労働者を結ぶ言葉がないわけです。だから、機械に強い、つまり機械科出身の通訳であるとか、電気科出身の通訳であるとかが求められています。そうなれば、ここでいう通訳は二つの専門を持っているわけです。先に挙げた、機械科を出たのだけれどもホテルに勤める、という場合とはまったく違うわけです。このような特殊な専門家をめざして別の道に進むという考え方もあるのです。

二つの専門を持つということについて、工業高校卒には甲種消防設備士の資格を取るという道があります。消防設備工事の責任者としての検定資格ですが、これは高等学校の機械科・電気科・土木科・建築科などを卒業すると受験資格が得られます。この他にも電気主任技術者３種・家電製品エンジニアなど、工業高校を卒業すると得られる資格にはいろいろなものがあります。そのような資格をたくさんもって就職すると、職場でたいへん貴重な存在になります。

ですから、卒業してからも国家試験や技術試験に挑戦して、いろいろな資格を取ってさらに伸びていくのか、それともう勉強するのはコリゴリだということでやめてしまうのかによって、人生は大きく違ってくるものだと思います。

【参照：「進路指導の要点」　関根庄一 著】

## 説明会のお知らせ

**◇札幌東高校（定時制）　学校説明会**

**１．実施日**　１２月１０日（木）１７：３０～１８：３０
※受け付けは、１７:００からです。

**２．場　所**　札幌東高校（白石区菊水９条３丁目）２階会議室

**３．内　容**　授業見学、校舎見学、学校概要説明　など

**４．その他**　中学生が参加する場合は、保護者の方の引率が必要です。また当日は、上靴・靴袋・筆記用具を持参してください。入場入口は、定時制の生徒玄関（玄関に向かって左側）です。なお、内容の詳細は、高校ＨＰ上の PDF ファイル（定時制⇒定時制 Topics ⇒学校説明会⇒開催要項）で確認してください。

**５．申し込みについて**

上記の開催要項に掲載されているＱＲコードを利用して、高校へ直接申し込んでください。申し込み締め切りは、**１１月２０日（金）14:00**となっています。